

令和元年度 墨田区立文花中学校 経営報告書

令和2年 2月26日

学 校 目 標	チーム文花中として、文武両道を目指し 自分に誇りの持てる生徒、生徒の誇れる学校』づくり
目 指 す 学 校 像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかる」「楽しい」「できる」が実感でき、生徒の意欲を育む学校</li> <li>・ チーム文花中として学校・家庭・地域が一つになって共に歩む学校</li> <li>・ 電子黒板・タブレット PC の活用を中心とした ICT 教育を推進する学校</li> <li>・ 人権尊重、異文化理解を積極的に推進する学校（夜間学級等との交流）</li> </ul>
目 指 す 子 供 像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日の授業を大切にし、自ら計画し、学び、進んで実行する生徒</li> <li>・ 人権を尊重し、互いに協力しあい、自他を大切にする生徒</li> <li>・ 規範意識を身につけ、責任を果たし、社会に貢献できる生徒</li> <li>・ 文武両道の精神を持ち、心身共に健康で何事にも粘り強く取り組む生徒</li> </ul>
目 指 す 教 師 像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒との関わりを大切にし、生徒理解に努め、個々の生徒を生かす指導を心がける教師</li> <li>・ 教える「プロ」として、自ら学びその向上に努め、変化や課題に適切に対応できる教師</li> <li>・ 公務員としての服務を守り、組織の一員として、効率よく、共通理解・共通指導、実践のできる教師</li> </ul>

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上マネジメント推進校として、進路指導部と研修委員会を中心に、生徒の学習課題を分析し全校体制で授業力向上に努める。</li> <li>・ 東京未来大学より講師を招聘し、「学習意欲測定尺度」について学んだ。自己肯定感を高めながら意欲的に学習へ取り組む生徒を育成する研修を継続的に行い、学力向上に努める。</li> <li>・ 基礎学力コンテスト（計算・漢字・英語）にむけて合格目標点を定め、意欲的にホームワークマラソンに取り組ませる。</li> <li>・ より端的で効率のよい授業展開のため、ICTリーダーやエバンジェリストの支援を受け、ICT利用を推進していく。</li> </ul>	B	B

様式 4

<p>学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教室「ゆうあい教室」の設置とともに、支援の必要な生徒の共通理解のため、心理士のアドバイスを受けて校内委員会を年間5回設定。必要に応じて臨時委員会も開催。特別支援教室専門員や特別支援教育コーディネーターを中心に生徒の特徴や困り感などを報告し個別の対応策を検討実践中。</li> <li>・不登校生徒への対応（文中バージョン）の、より一層の徹底をはかる。不登校ぎみの生徒には、別室対応などで登校状況が改善できるようにする。また、学校支援指導員などが対応し基礎学習の遅れを取り戻させる。さらに外部機関との連携を密にする。</li> <li>・「放課後学習教室」や区主催の「チャレンジ教室」への参加を促し学力下位層の引き上げを行う。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間を中心に、キャリア教育を行っている。様々な地域人材の力を借り、職業講話や模擬体験をもとに、生徒が夢を描き実現にむけて歩めるような場面をつくる。</li> <li>・行事や総合的な学習の時間と授業時数のバランスが常に課題となる。進路指導部と教務部で調整をとりながら計画的に実践させる。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察期間でありながら、他の先生方の授業を見に行く時間が作り出せない教員が多かった。今後、必ず授業観察をするために、時間割に組み込むなど意識的に行うようにする。</li> <li>・教員の業務軽減、働き方改革に取り組む。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上・人間力をつける為の努力に力を入れて、それぞれに少しずつ効果がでてきているように見られる。支援の必要な子どもに対しても理解があって良いと思う。</li> <li>・「B達成できた」という自己評価の根拠が外部者には不明なため、あえてC評価としたが、不登校者は何名で、ステップに何名通学している、それが本年度は減少した、よって「達成できた」と理解できるのであれば良いが、不登校生徒が少なくないという情報もあり、それが事実であればB評価はいかがわしいという思いです。</li> <li>・先生方の手塩にかけた取り組みはすぐ結果の出るものではありません。</li> </ul>			

様式 4

	<p>ん。継続のみです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外、休日の連絡体制 現状では、充分とは言えないと思う。</li> <li>・面接体験は地域の方の力を借りても良いと思います。</li> <li>・不登校生に学校支援指導員だけでは対応仕切れない程、数が多いのでは？</li> <li>・教員間の連携をもっと密にした方がよいと思います。</li> </ul>
--	---

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導部を中心に情報交換を密に行うなど、報告・連絡・相談の指導体制をより一層充実させる。さらに、不登校対応教員による定期的な報告により、諸機関との情報を集約する。</li> <li>・ICTの回覧活用などで小さな事でも情報が共有できるような体制をつくる。</li> </ul>	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズム改善や挨拶の励行など家庭への協力を促す。そして、生徒会の活動として推進する。</li> <li>・日頃の生徒観察や毎月1回のいじめアンケートにより人間関係の変化に対応する。</li> </ul>	B	B
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、安全指導は毎月行われ生徒の取り組む姿勢は回を重ねる毎に良好。さらに発展させる。</li> <li>・ジュニアレスキュー隊の活躍が他の生徒への防災意識改革に繋がっている。今後もレスキュー隊の人材育成に努める。</li> <li>・家庭内外の問題については、スクールカウンセラーや子育て支援、児童相談所などの関係諸機関とも連携し早期対応に努める。</li> </ul>	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会で意見箱を設置し、生徒の意見を吸い上げている。あまり発展的な意見が出ていないので、さらに生徒会の活動の意識を高める。</li> <li>・行事や土曜授業の際に保護者アンケートを実施しているが、なかなか意見が集まらないので、さらに意見を出しやすいアンケートにしていく。</li> <li>・年度末に保護者アンケート、生徒アンケートを実施している。さらに振り返りをしっかり行う。</li> </ul>	B	B

様式 4

	<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活面はやはり親との連携が必要。最近の保護者への対応は難しいと思うが、その部分がんばってほしい。</li> <li>・ジュニアレスキュー隊の活動・活躍は少なからず、他の生徒にも良い影響を与えていると思う。</li> <li>・ジュニアレスキュー隊に非常食などの食育や台風時などの対抗マニュアルを考えてもらい、地域に反映できるとよいのでは？</li> <li>・問題行動をおこしている生徒の改善があるのかわからない。保護者にも指導や情報の共有が必要だと思う。その上でも、生徒の事故等連絡の必要においても、留守番電話の導入のあり方を見直すべきだと思う。</li> <li>・生活指導によって大変な精力を費やし、教師の時間を奪うものながら、特にこの思春期には避けて通ることができない重要な分野と思います。質問ですが、             <ul style="list-style-type: none"> <li>①スクールカウンセラー、校長、生活指導主任等の定期的な会合はお持ちですか。</li> <li>②性に関する問題行動が多くなっております。性教育はどのようにされていますか。</li> <li>③「誇りと自信」を持てるよう、特に何かされていますか。</li> </ul> </li> <li>・学校運営連絡協議会での情報交換での緊急連絡の件です。地域の中心となる学校で、最優先すべき子どもの安全はまさしく、危機管理はどのようになっているのかと正直びっくりしてしまいました。大人の事情はあるかと思いますが、知恵をだして早く解決を希望します。</li> </ul>
--	-----------------------	---

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議の時間を1時間内で終了出来るよう工夫をさせる。毎週、企画会と運営委員会を実施し約2ヶ月先の行事までを見通して企画・整理・調整を行い、職員会議の提案を吟味されたものにする。</li> <li>・議題の優先順位、重点化を図っていくなどの工夫が必要だと考える。</li> <li>・地域行事やキャリア教育など、育成委員会やPTAなどの協力もあり、外部の人材を活用した教育活動が実施できている。日常の教育活動を学校が発信し、理解を得ることで、随時、安定した教育活動に協力してもらえるようにする。</li> </ul>	B	B

様式 4

	<p>学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習状況や生活の状況を把握するため、各種の学習状況調査や生活実態調査を実施している。調査から明らかになった課題や問題点を保護者や地域の意見や考えをもとに対処策を考え、具体的な教育目標を設定する。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>
	<p>学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の清掃活動の徹底をはかる。</li> <li>・ICTを活用しながら授業を進める教員が多くなってきた。生徒にとって有効なものや教師が活用しやすい器材や環境を整備し、改善するため常に研究を重ねる。</li> </ul>	<p>A</p>	<p>A</p>
	<p>学校関係者評価委員会の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方もお仕事が多いので大変だと思いますが、少しでも無駄なく(効率的に)動くことで、子供たちに耳を傾ける時間が増えればと思う。</li> <li>・部活動の時間の管理もきちんとしてほしい。連絡もなく伸びたりする上、留守電になってしまうのは改善すべき。</li> <li>・改善策はとても良いと思います。学校では特に会議が多い場所です。今、先端の企業では会議は30分、5人以下というのが導入されています。基本的に職員会議は報告事項のみに徹底できるといいですね。</li> <li>・目指す学校像との関連では、上記に「異文化理解を積極的にする」ために取り組みを記載されると良いと思います。</li> <li>・もっと地域力を活用してください。</li> </ul>				

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	<p>学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りや各学年から発行される学年だより、PTA新聞など、各方面から生徒情報の提供をすすめる。</li> <li>・学校ホームページの掲載や更新に時間がかかるものや古いものがある。担当者数人が更新しているため手がまわらないことが多い。複数の職員が更新できるように研修などを設け、業務の軽減化をはかる。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>
	<p>学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・率先して挨拶できない生徒が多い。「生徒会のあいさつ運動」の期間だけでは、なかなか学校全体に浸透していかない。部活動、特に運動部の生徒が部活動だけにとどまらず、普段からあいさつする習慣を広めていくようにする。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>

様式 4

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央委員会のメンバーと美化委員を中心に地域清掃は無理なくやったと思う。一般生徒の意識の向上を促す工夫が必要と感じる。</li> </ul>		
	<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつは、その期間だけでなく日頃から、声をかけるように地域としては協力したいと思う。</li> <li>・HR 担当教員の持ち時数一減とか、部活指導の軽減などで、専任をつくるのが私立のやり方です。校長会で検討してもいいですね。これからの時代、必要不可欠な分掌ですから。</li> <li>・先生方の教鞭としての仕事以上を要求されている仕事(事務等)が多いのも事実。専務仕事の責任者を増やせないのか。</li> <li>・挨拶は登校時などに地域の方の協力をお願いしてください。</li> </ul> <p>HPについては、育成委員にプロの方もいるので活用を考えてみては？</p>		

2 令和元年度学校評価のまとめ

<p>○学力向上等の努力が、少しずつ効果を出してきているようだが、学力向上については、まだまだ本校の重要課題でもある。学力向上マネジメント推進校として、学習意欲の向上について、学校全体で組織的に取り組む。その為にも、学力向上委員会を立ち上げ、研修委員会と共に、生徒の学力をどのように定着させていくのか、一人一人の教員の意識をさらに高めていく。また、学力調査の結果から英語の学力が伸びている事をいかし、どの教科も英語の授業の進め方を参考に授業力向上を目指す。また、伝統のスピーチコンテストが英語の学習意欲を伸ばしている。</p> <p>○特別支援教育についても、特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教室通室校内委員会をより活発にして、生徒の特性を理解し、よりきめ細かい指導を行う。また不登校生徒に対しても、教育相談・不登校対応委員会を中心に別室登校やSCとの連携により、学校とのかかわりを大切にして対応していく。場合によっては、スクールソーシャルワーカーや地域を含めた関係諸機関との連携も大切にしていく。</p> <p>○生活指導面では、「チーム文花中」の意識をより強め、各種委員会活動や部活動、さらには各行事や夜間学級との交流活動などに生徒がより主体的に取り組めるように、所属感や連帯感をしっかりと育てていく。また本校の特色でもある、青少年育成委員会を始め地域や幼保小中の連携をより一層強め、あいさつ運動やジュニアレスキュー隊などの今までの取組を一層活発にすると共に、新しい取組にも積極的に挑戦し、より地域との一体感を深めていく。</p> <p>○学校の組織運営に関しては、生徒が減少し教員も減っていく中で、校務分掌の整理と各委員会の役割を早急に見直し、それぞれの分掌と委員会を組織的に機能させ、職員会議は一時間以内に終わらせるようにする。また、OJTをより活発にして、学校運営を行う。特に主任教諭には本校の課題の解決に向け、重要な役割を担わせる。また、学校評価についても中間評価、保護者、生徒アンケートのやり方を今まで通りで終わらせず、経年比較するものと、現状の課題に対するものをしっかり考えて行い、結果を分析し、どこを改善すれば良いか具体的な課題を見いだせるようにしていく。</p> <p style="text-align: right;">墨田区立文花中学校 校長 稲垣 吉実</p>
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立文花中学校 校長 稲垣 吉実 公印